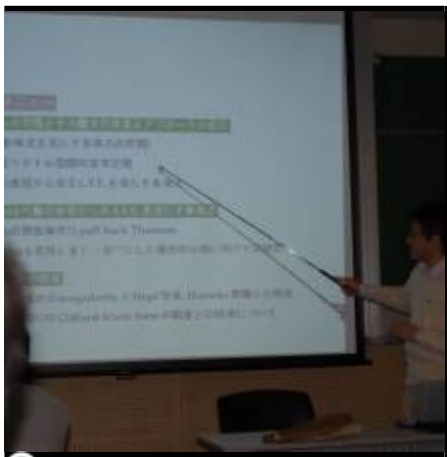


第14回

- 講演者: 小木曾 岳義 氏 (城西大学 理学部)
 - 題目□Clifford代数の表現から得られる非概均質的局所関数等式 (佐藤文広 氏との共同研究)
 - 日時: 平成21年11月26日(木) 16:30~17:30

概均質ベクトル空間の理論の基本定理(局所関数等式)は、大雑把に言うと、正則概均質ベクトル空間の相対不変式の複素ベキのFourier変換が双対概均質ベクトル空間の相対不変式の複素ベキにガンマ因子をかけたものと一致することを主張している。この定理は解析学、整数論双方で重要な意味を持っている。この講演では、概均質ベクトル空間の相対不変式ではないにもかかわらず、その複素ベキが同種の局所関数等式を満たすような多項式が、Clifford代数の表現より構成できることを報告する。



.lg-outer.lg-pull-caption-up.lg-thumb-open .lg-sub-html {bottom:80px;}

11 images

From:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/> - (旧)理工学部 数学科

Permanent link:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/seminar/2009/014>

Last update: **2017/11/17 11:55**

